

河口堰常時開門の皮算用

伊勢湾再生の貨幣換算

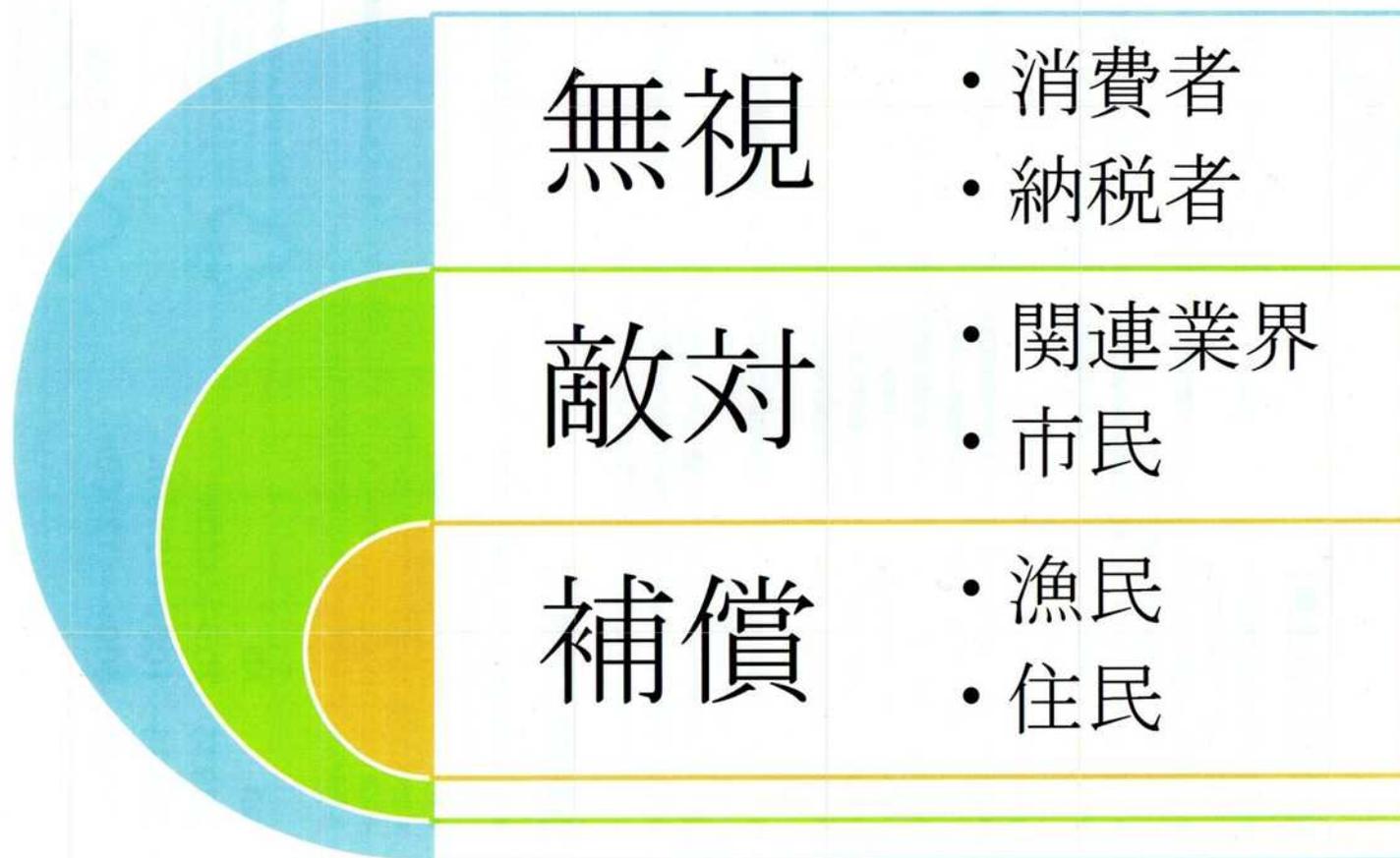
「なごや環境大学共育講座」よみがえれ長良川
第4回「長良川の再生に向けて」

2012.9.29 名古屋市女性会館

4つの視点から貨幣換算

- 海の漁師の現状と皮算用
- 水産流通関係者の現状と皮算用
- 全国の一般消費者の家計消費支出
- 納税者の収支

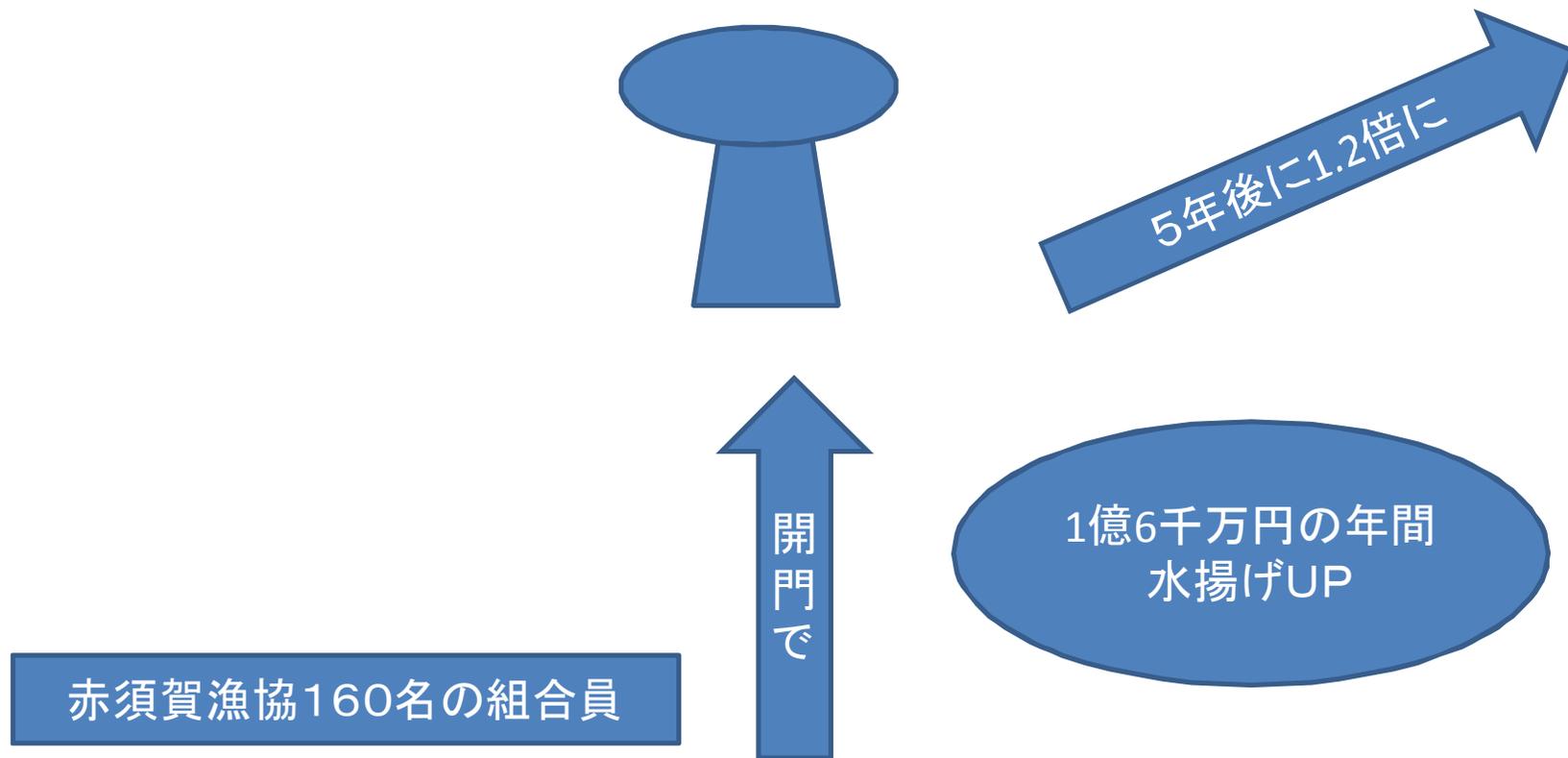
従来の水辺の破壊を伴う開発の構図



ここ大事！

儲からないために後継者難

海の漁師の現状と皮算用

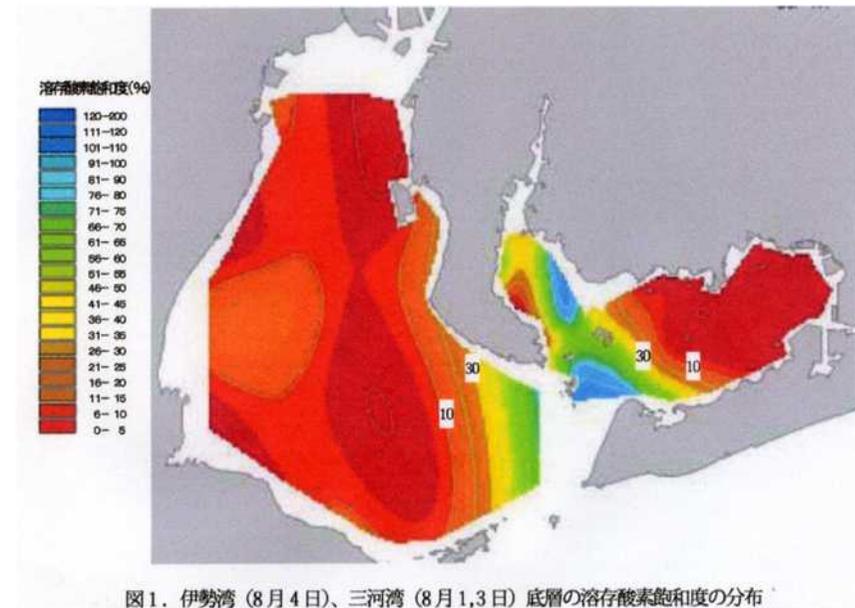


貧酸素→青潮に泣く伊勢湾

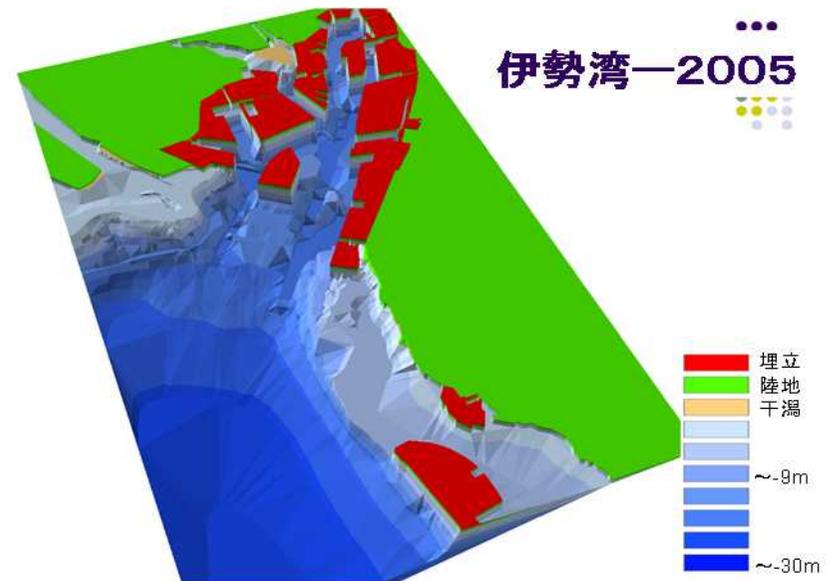
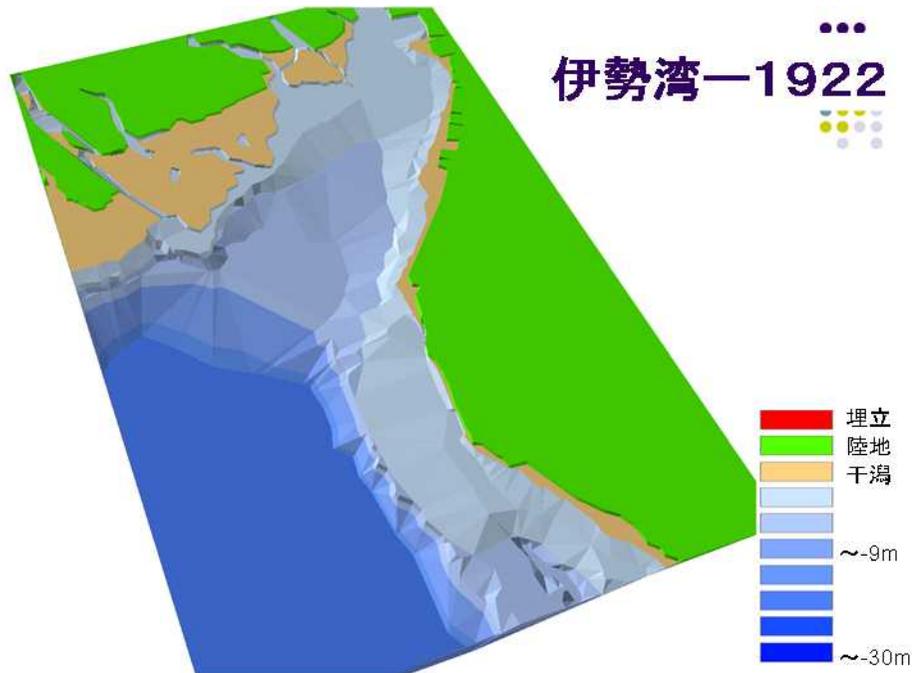
赤須賀漁協の河岸



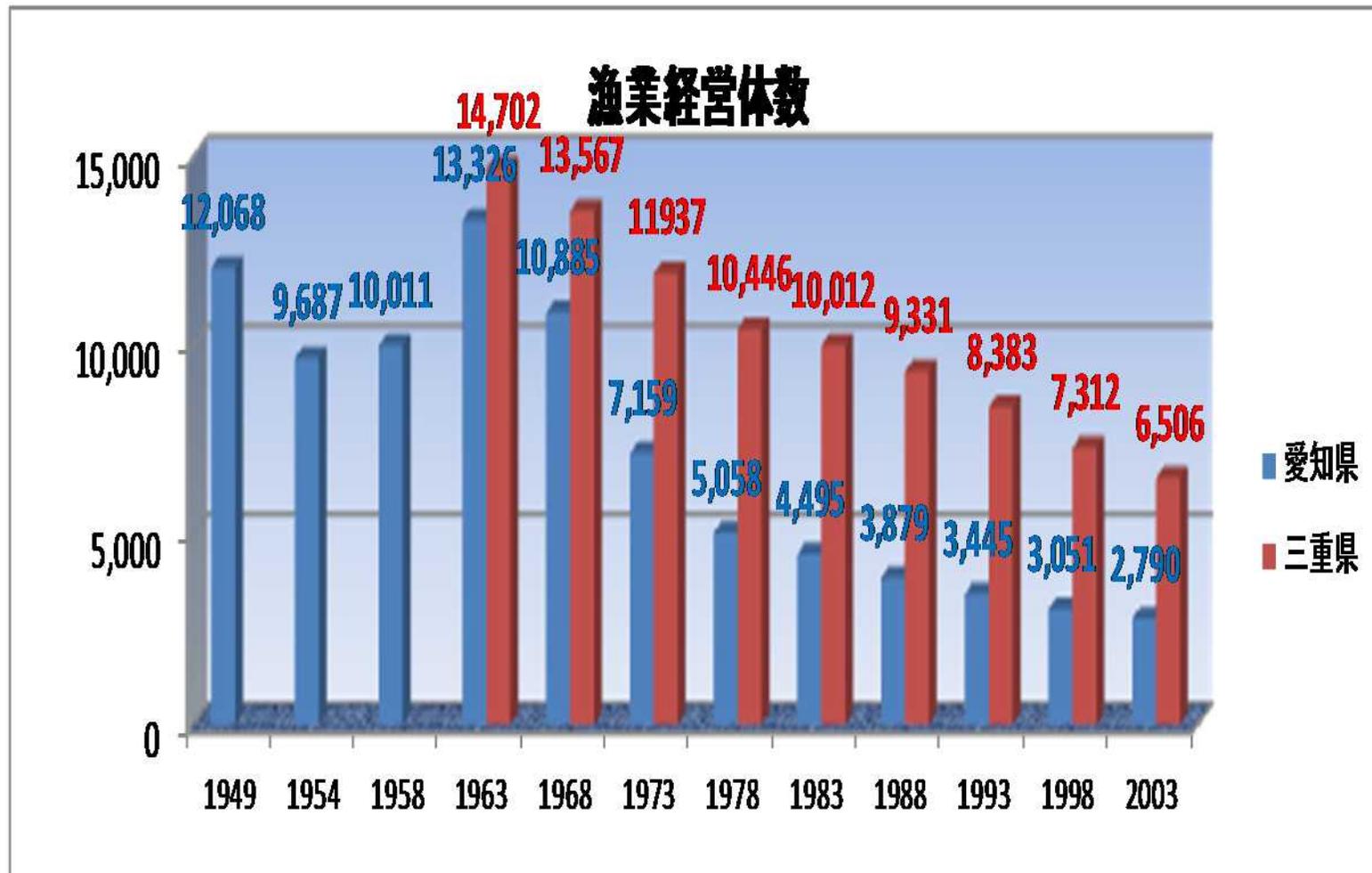
夏の伊勢・三河湾



劇的な地形改変は海底にまで及ぶ



減り続ける伊勢・三河湾の漁師



高齢化と後継者難に泣く 海の漁師たち

26,000人

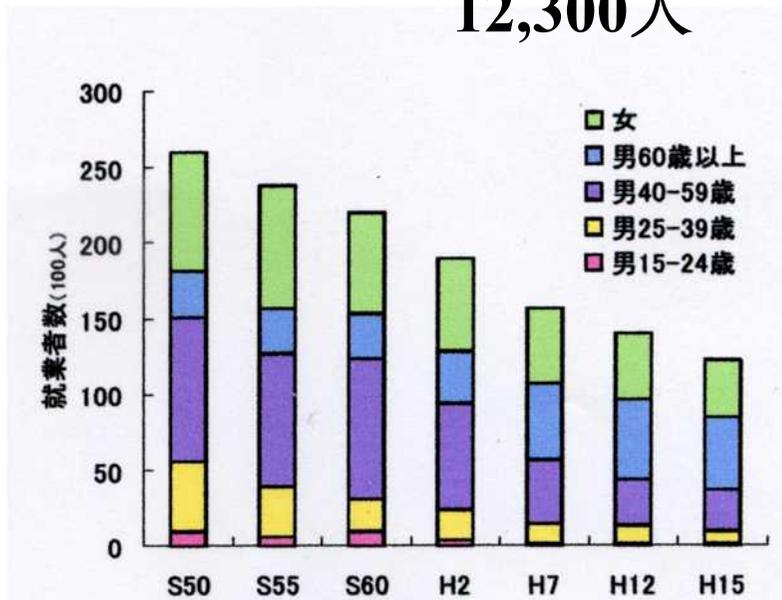


9,183人

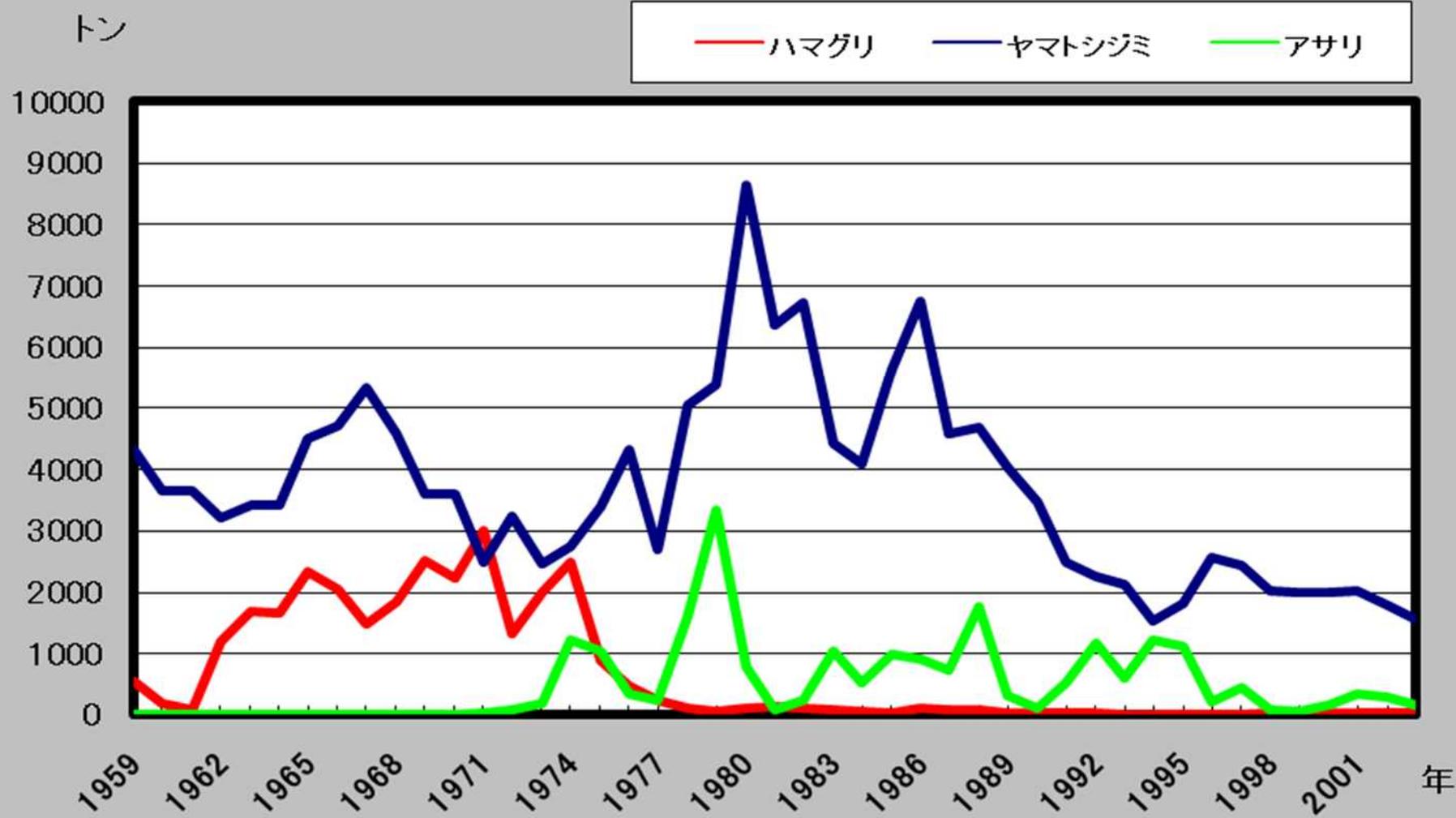


5,304人

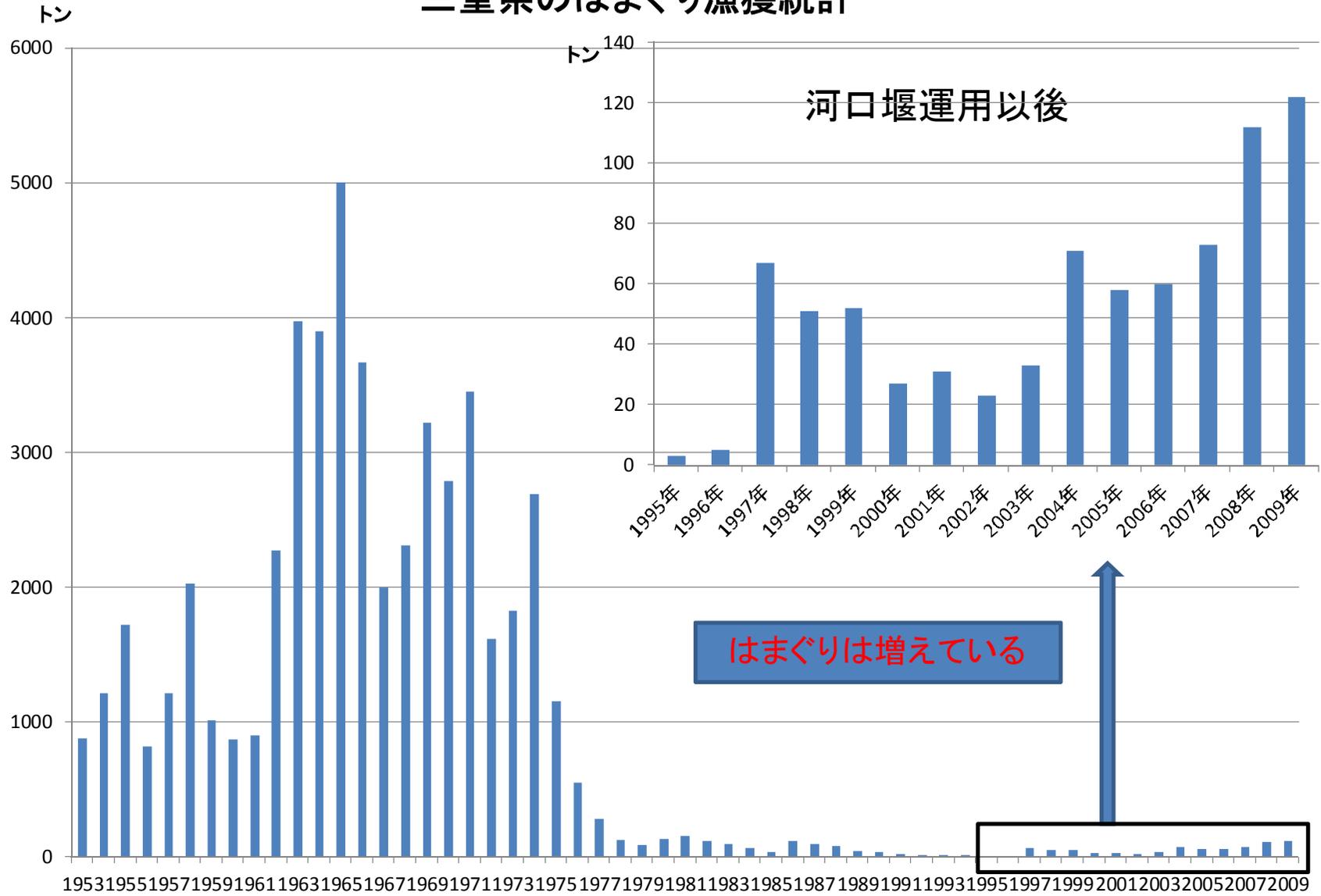
12,300人



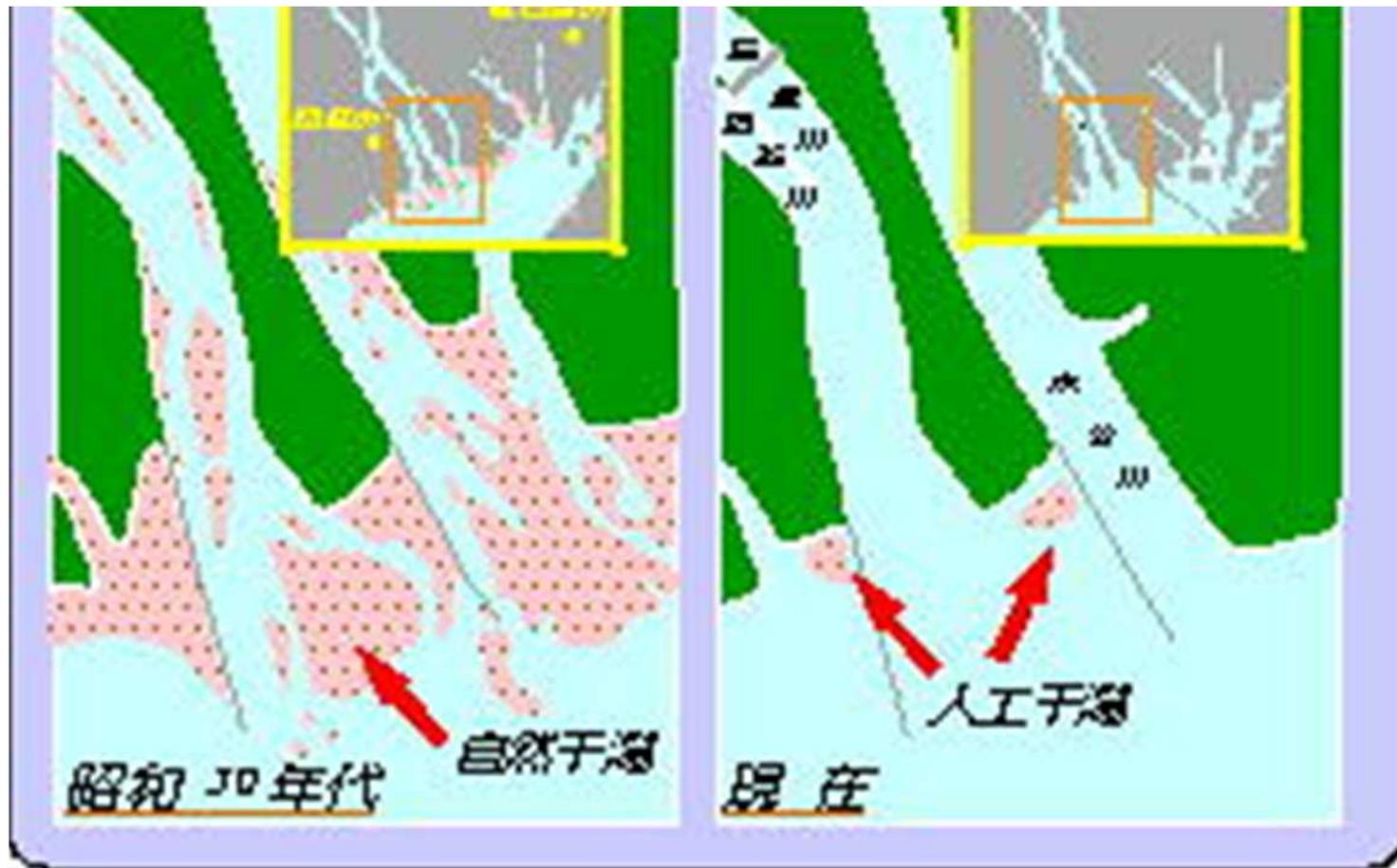
三重県赤須賀漁協年度別漁獲高



三重県のはまぐり漁獲統計



はまぐり漁獲高が増えた原因は
河口堰建設残土で作った
40haの人工干潟



漁師は、
後継者ができることに期待！

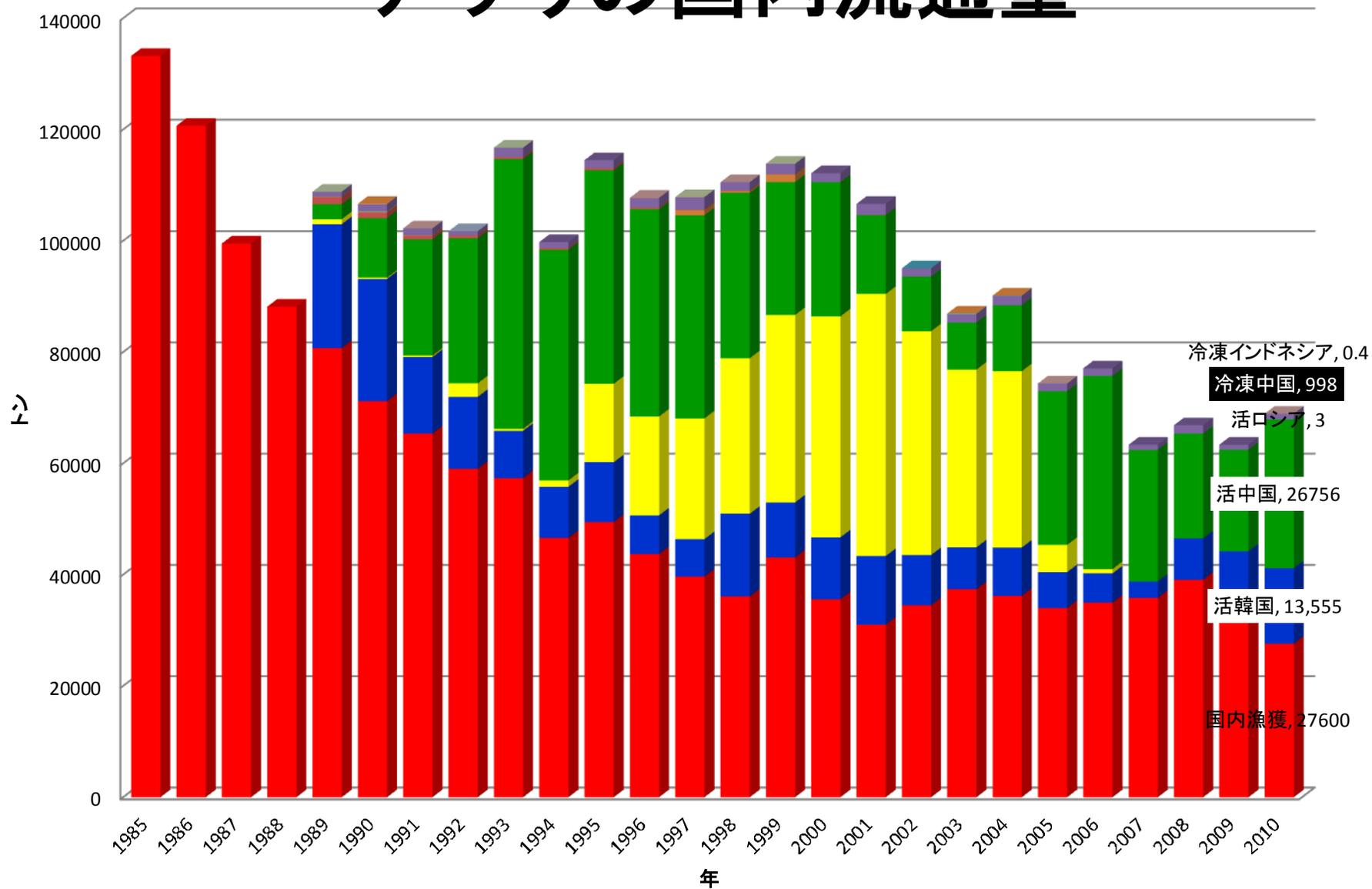
水産流通関係者の現状と皮算用

海苔養殖 質の向上で年2割の増収

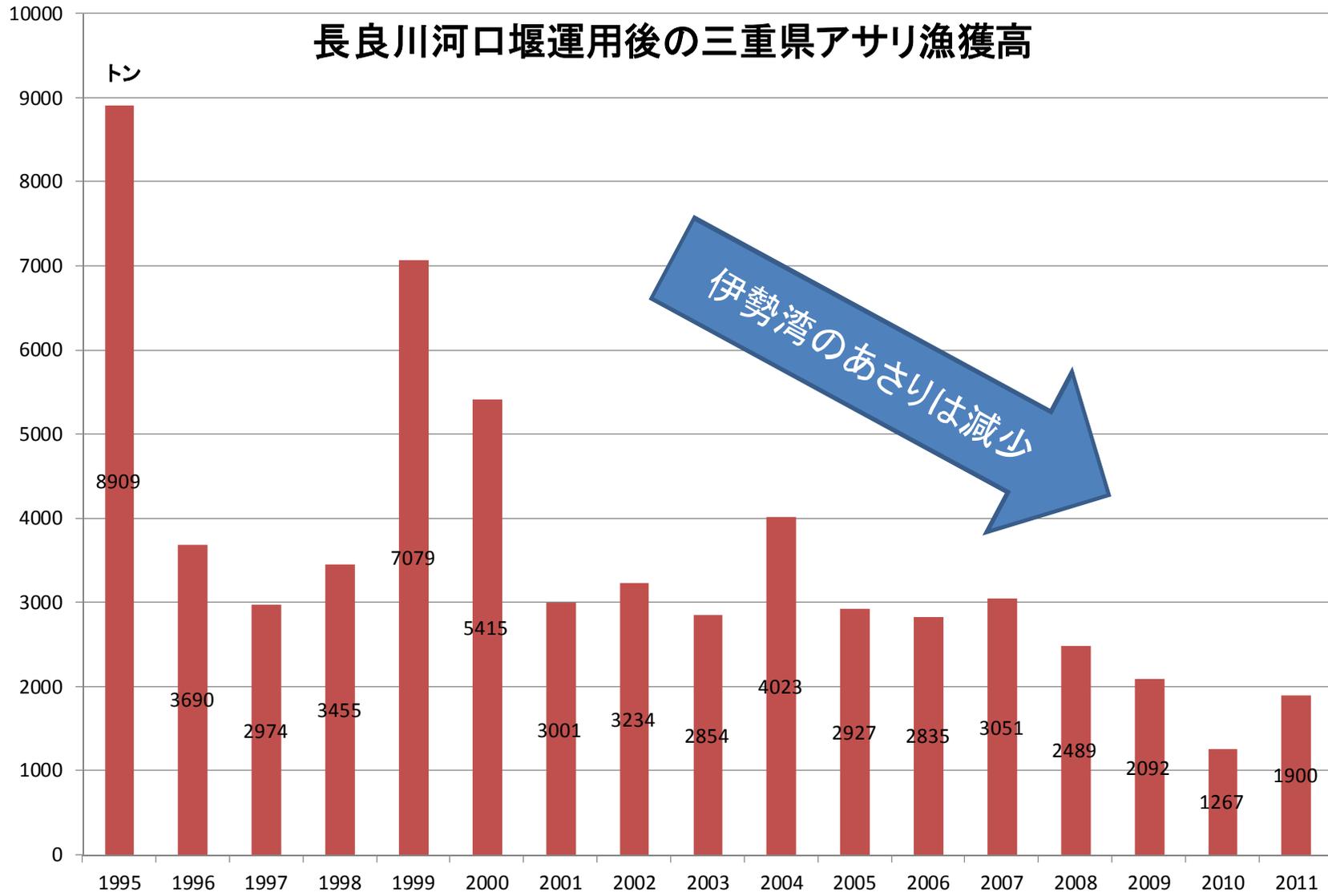
ヤマトシジミ 4千トン回復で年20億円UP
日本一の産地に

アサリ 取扱高倍増で年9.5億円UP

アサリの国内流通量



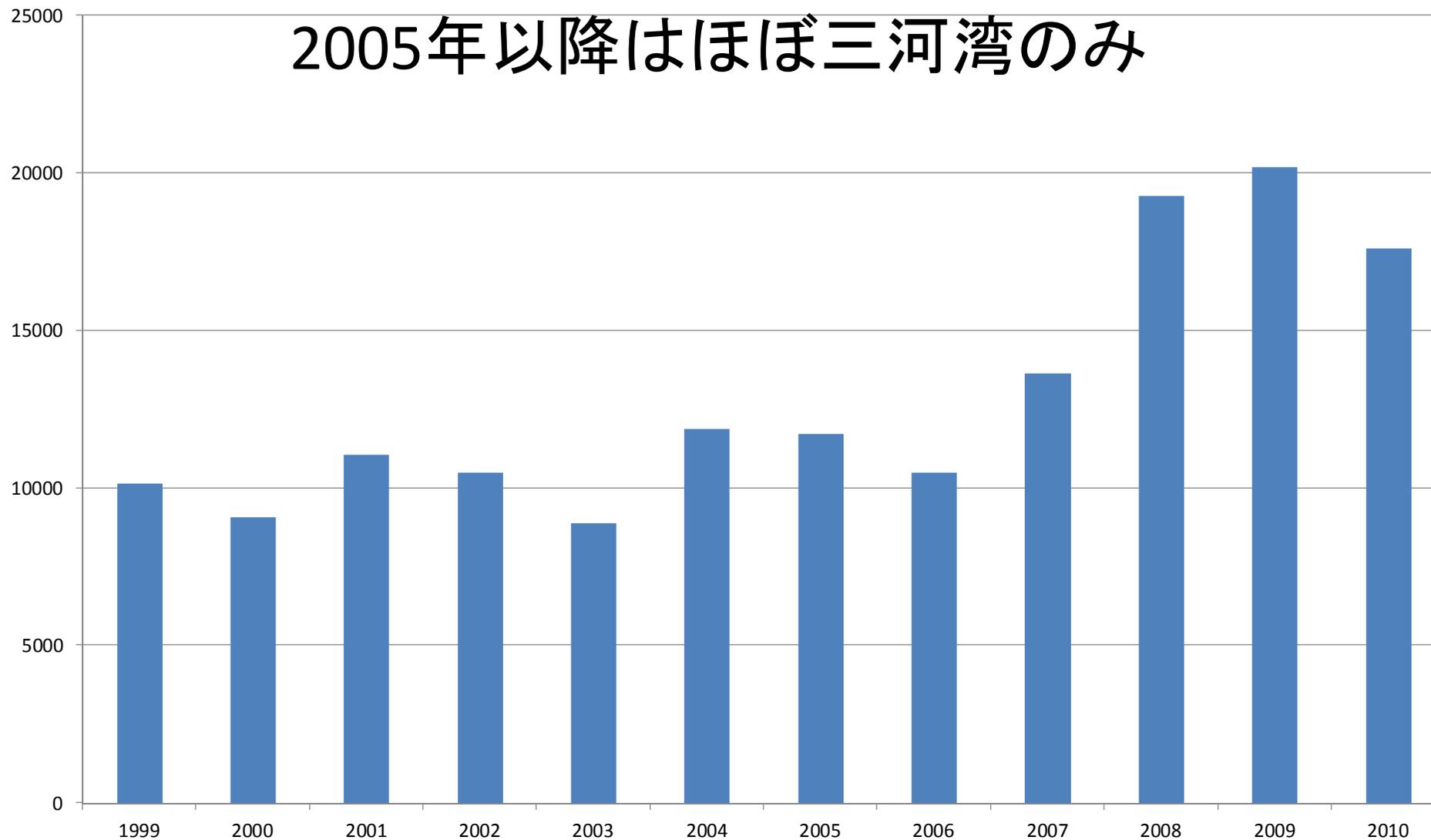
長良川河口堰運用後の三重県アサリ漁獲高



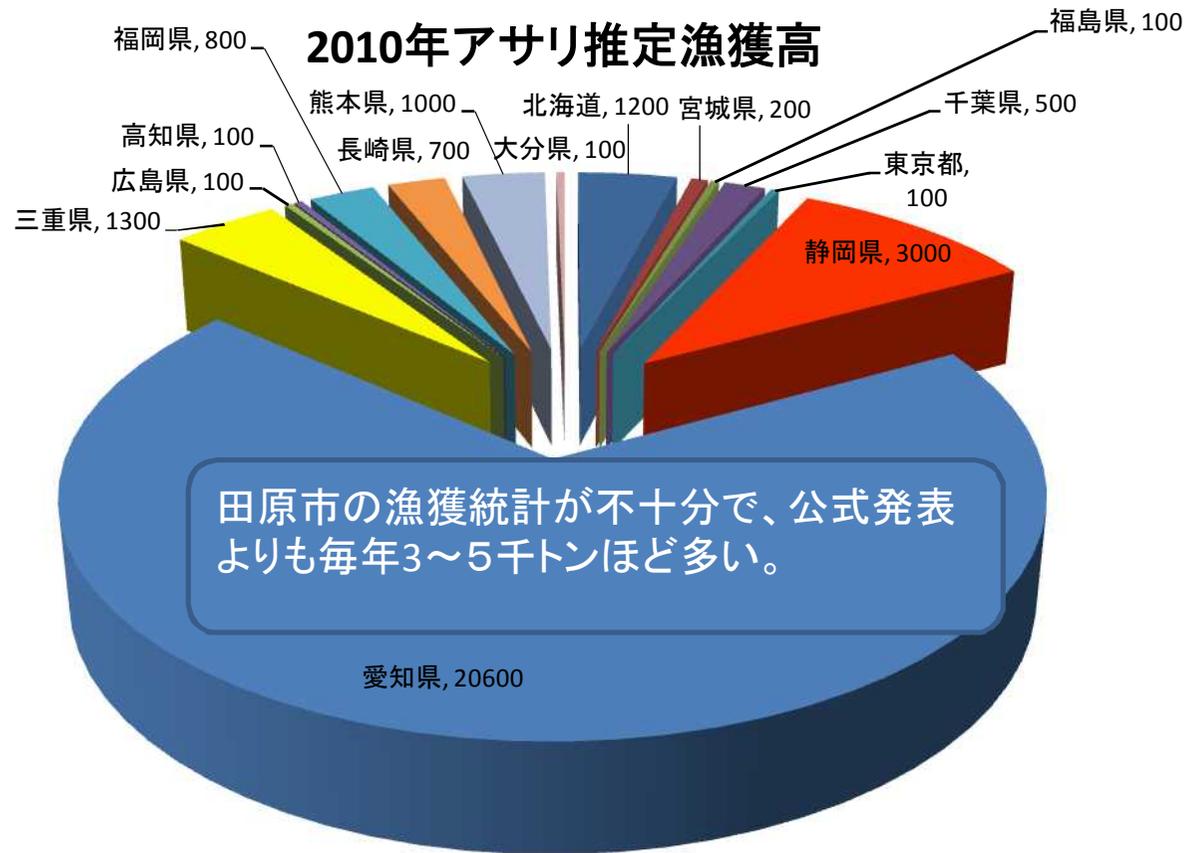
愛知のアサリ漁獲高

t

2005年以降はほぼ三河湾のみ



2010年あさり非公式漁獲高



伊勢・三河
たくさん獲
愛知の魚
クルマエビ

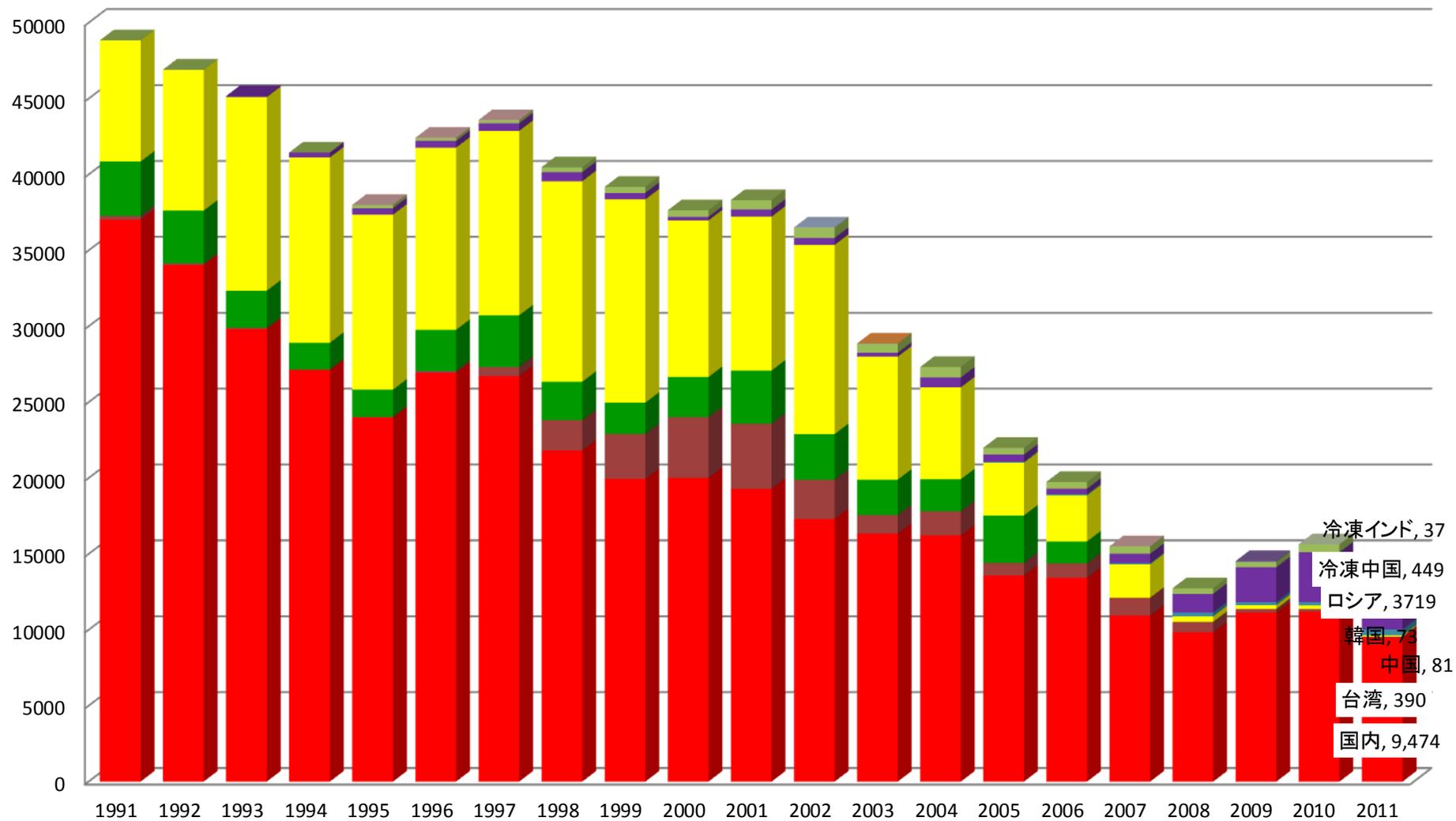


三河湾の天然活
きクルマエビ

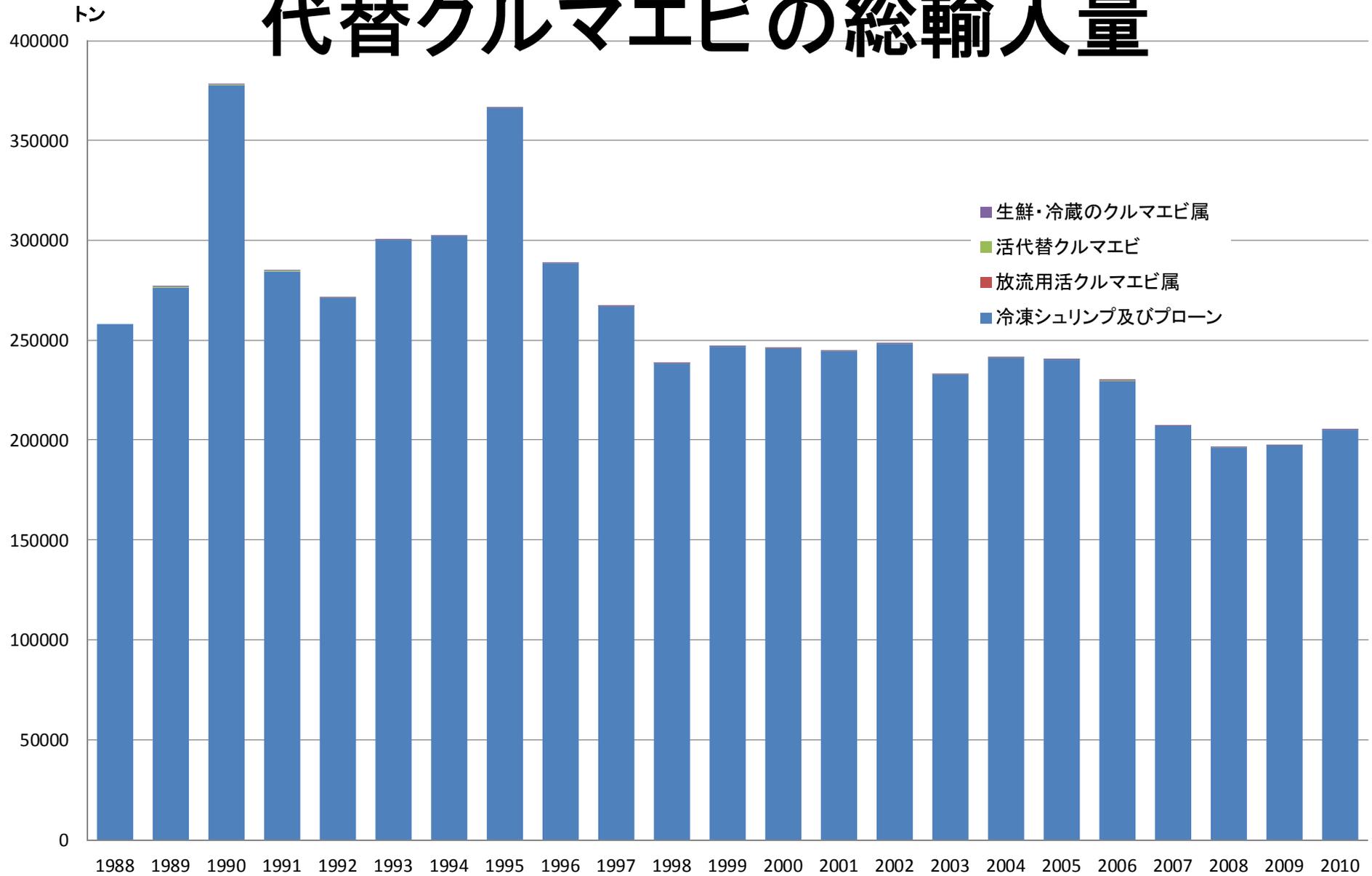
新橋の料亭で1尾3,500円から

トン

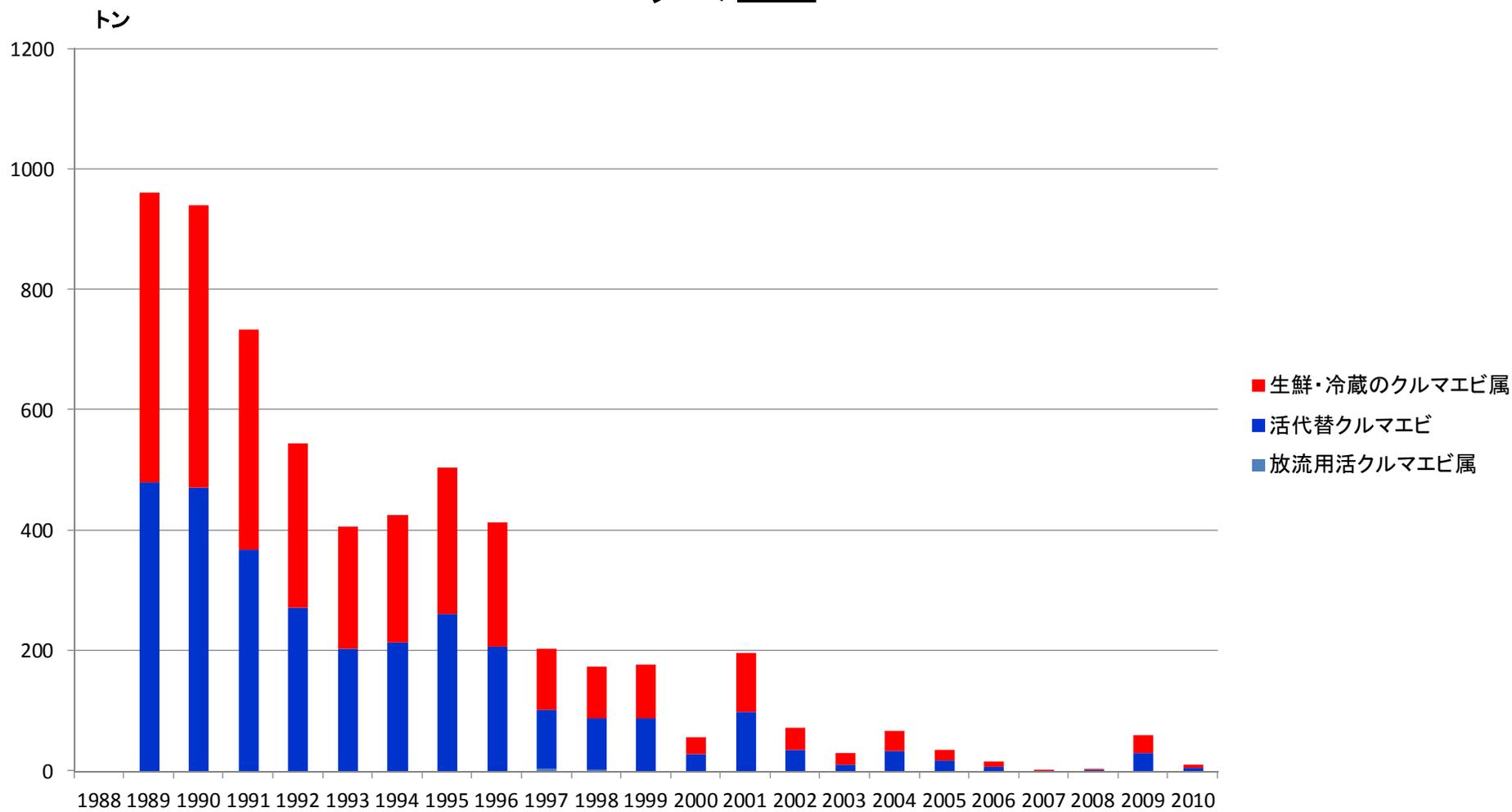
シジミ類流通量

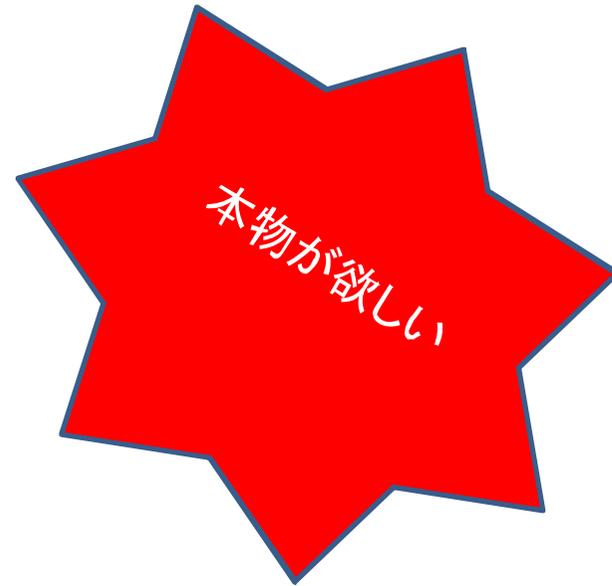


代替クルマエビの総輸出入量



生鮮・冷蔵・活代替クルマエビ輸 入量





水産卸、スーパー、料亭は、
伊勢湾の再生を心待ちにしている

全国の一般消費者の家計消費支出

消費者の期待

伊勢・三河湾で捕れる魚貝類が、東京・大阪よりも安く食べられるようになる。

為替が円安に振れたり、更なるエネルギー価格の高騰など、対外的な不安定要素に左右されにくい家計消費が可能になる。

あさりで計算してみた

全国平均1.118kg

1.615kgで全国2位の消費量の名古屋市民だと

$$\underline{1.615\text{kg} \times 2,000\text{円} = 3,230\text{円}}$$

1.246kgで全国14位の岐阜市だと2,492円

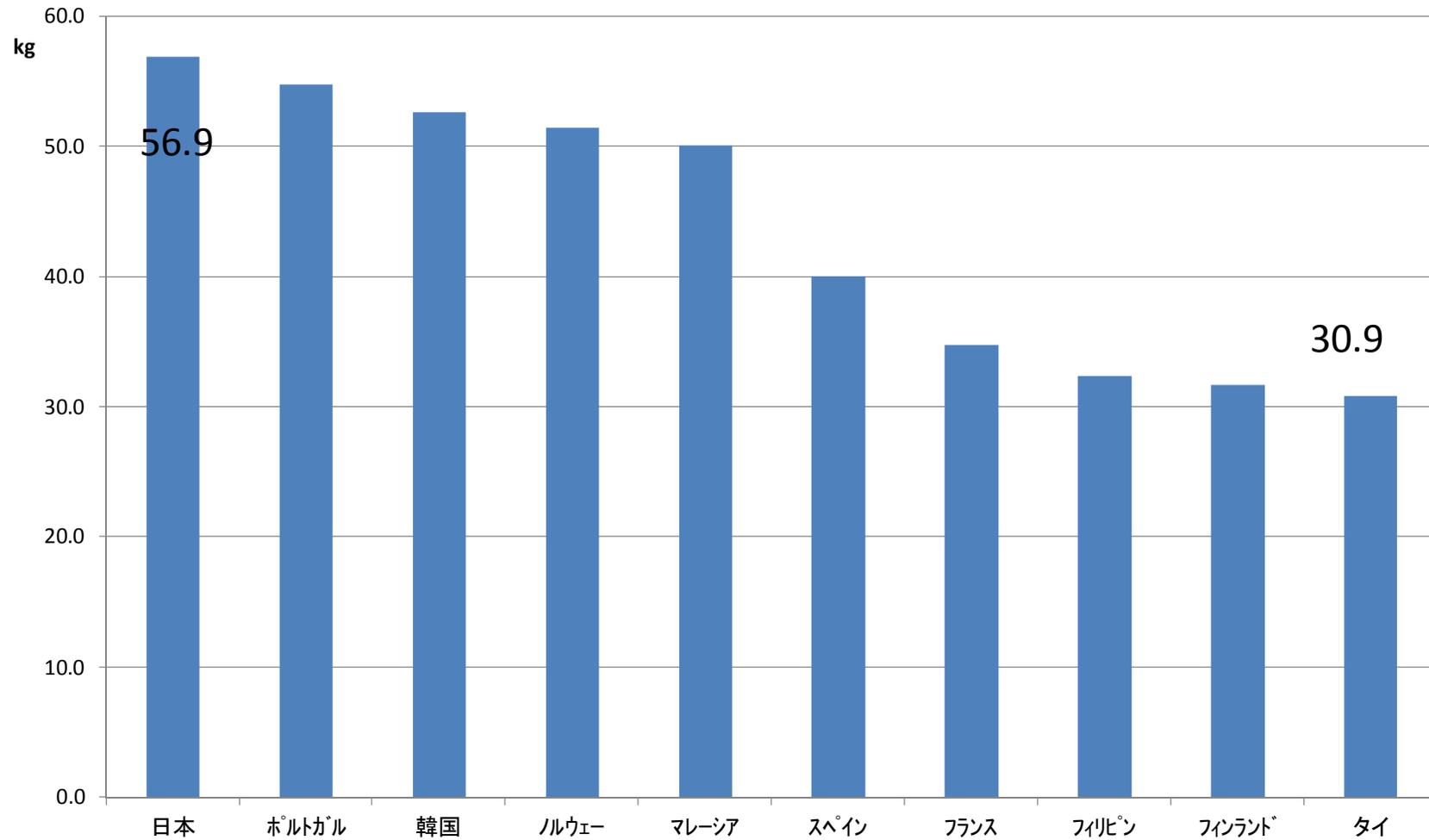
国産比率が上がると、直近は支出は増える

11月から4月いっぱい、**「中国産」「韓国産」と書かれた北朝鮮原産の身の小さくなった蓄用あさり**が流通している。

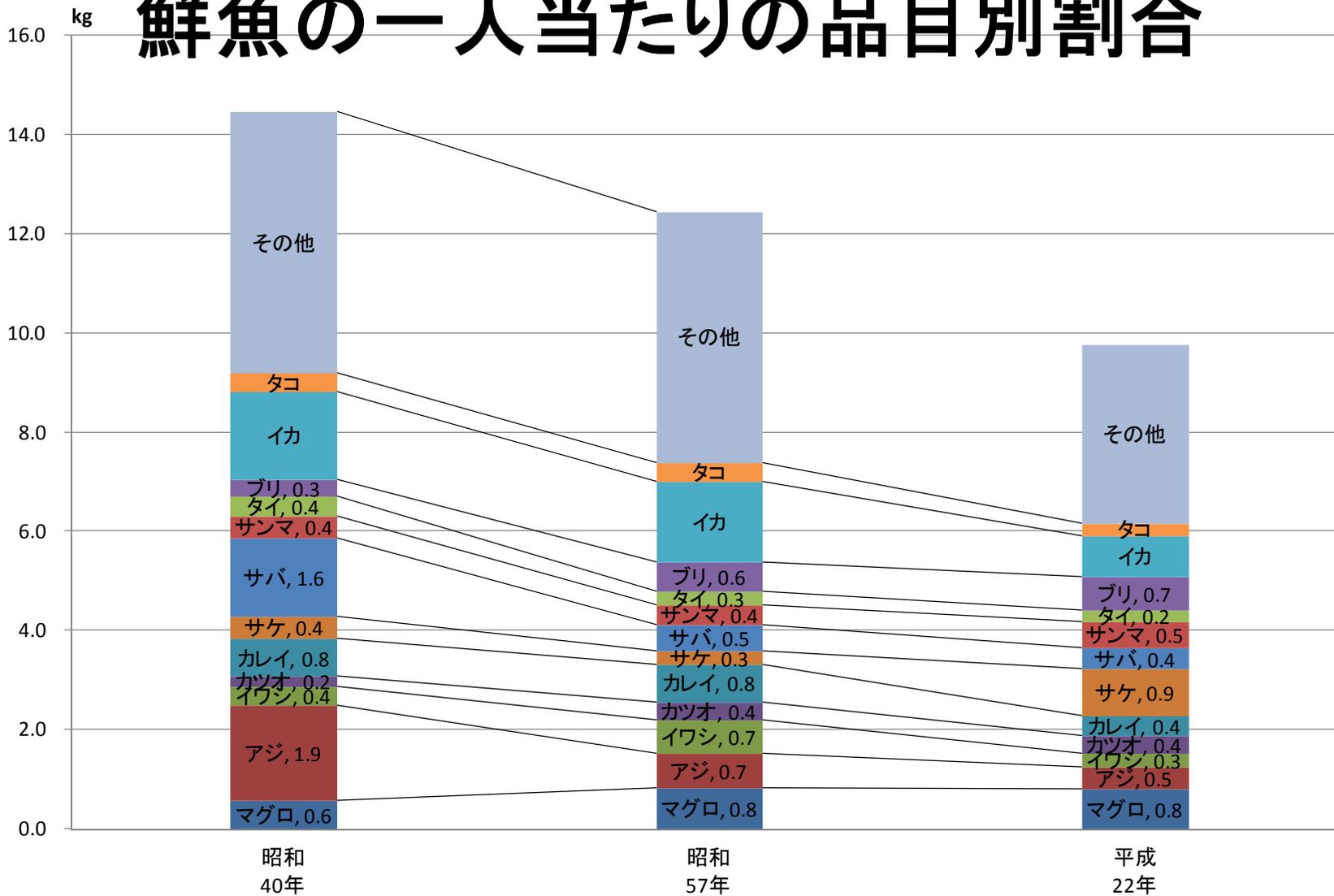
「食料安保」という言葉もある。国内で自給できるものはしたほうが安全安心。

2007

1人当たりの魚介類年間消費量国際比較



鮮魚の一人当たりの品目別割合



各国の消費支出に占める食料関連支出の割合

(単位: %)

	昭和63年 (1988)	平成6年 (1994)	11 (1999)	17 (2005)
日本	25.5	24.1	23.7	22.9
米国	15.4	14.5	14.2	13.6
ドイツ	27.0	20.4	17.7	16.0
フランス	23.4	21.6	21.6	18.8
スペイン	35.2	31.7	27.8	27.4
イタリア	29.7	26.5	23.0	22.7
英国	22.8	22.7	19.5	18.1

資料: EU「Household Budget Survey」、米国「Consumer Expenditure Survey」、
総務省「家計調査」

- 注: 1) 世帯について、日本は、二人以上の世帯(平成11(1999)年以前は農林漁家世帯を除く)、
米国は夫婦世帯(子どもを含む)、EU諸国は、全世帯
2) 消費支出に占める食料関連支出(食料、非アルコール飲料、アルコール飲料、外食)の
割合。ただし、ドイツの食料関連支出は、たばこを含む。
3) 1988年のドイツのデータは西ドイツの数値であり、「外食・宿泊」のすべてを外食として
計上

天然国産魚介類の流通は 減ったけれど・・・

楽観的な見方

- 海は広いから。
- 安い輸入品で代替できている。
- 養殖すればいい。
- 魚より肉。
- 技術革新で解決できる。
- これからも貧乏な国から輸入すれば良い。

悲観的な要素

- 水産物の枯渇タイムリミット2048問題。
- 食料価格の世界的高騰。
- 買い負け。
- 燃料価格の高騰。
- 世界人口の増加。
- 水環境の世界的悪化。
- 日本経済の縮小。

公共事業が与えた損失

- 実は輸入比率が高い水産物
ワカメは7割強、ヒジキは9割
- ホツケが居酒屋メニューから消える
- うなぎが環境省のレッドリストに
- 年々規制が強まるマグロ・カツオ類
- うなぎはまもなくワシントン条約

2048年までに食卓から魚が消える？

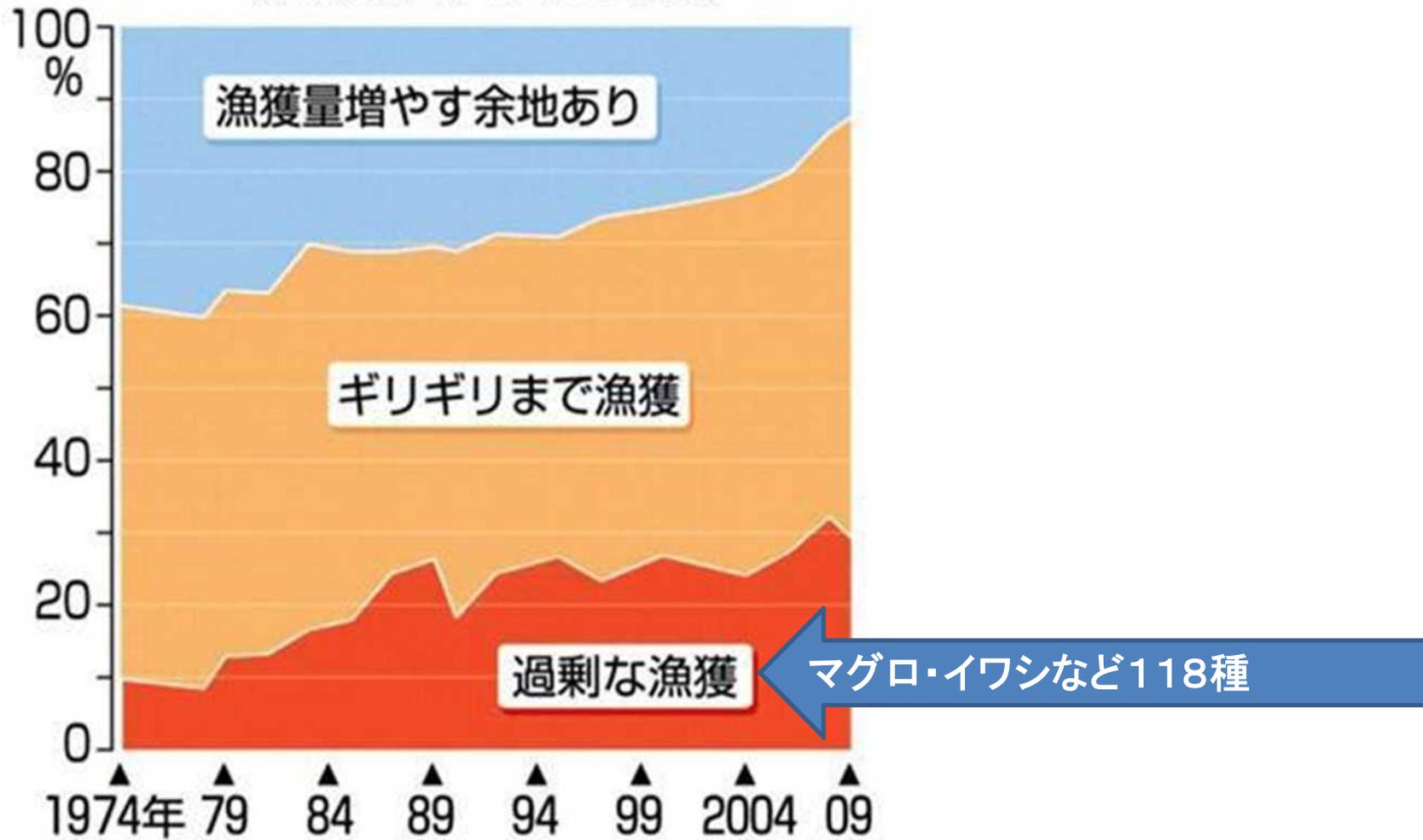
こんな居酒屋がある



深海トロールや巻き網漁などといった、早い者勝ちで水産資源を食い尽くす漁法ではなく、水産資源や海洋環境を守りながら、水産資源が成長するスピードとともに適切な量だけを獲る、一本釣りや定置網などの持続可能な漁法を行う漁師と契約し、2048年以降にも美味しく安全な水産資源を保つべく、魚や海、そして漁業再生も考えて、日本が誇る魚食文化と天然魚を未来に残していくことを目指しています。

世界の漁業資源の状況

(種の割合、FAOによる)



食卓に天然魚貝類を呼び戻すために、消費者はどうしたらよいの？

川 干潟 砂浜 藻場 サンゴ マングローブ
の保全・再生



伊勢・三河湾にもともと豊富に居た魚貝類 は、今や食べる宝石に

東京築地市場 取引価格

大間産一本釣り生クロマグロ

¥7,350/kgから

三河湾産天然活きクルマエビ

¥24,500/kgから

プリウス

155万円/トン

べっこうしじみ

200万円/トン

三河湾高品質アサリ

220万円/トン

ロールスロイスファントム

1,865万円/トン

三河湾活き天然クルマエビ

3,500万円/トン

納税者の収支

でどころ 赤字国債?

河口堰建設費1,493億円

償還予定年数23年 金利ゼロで均等払い65億円/年

維持管理費12億5千万円(平均)

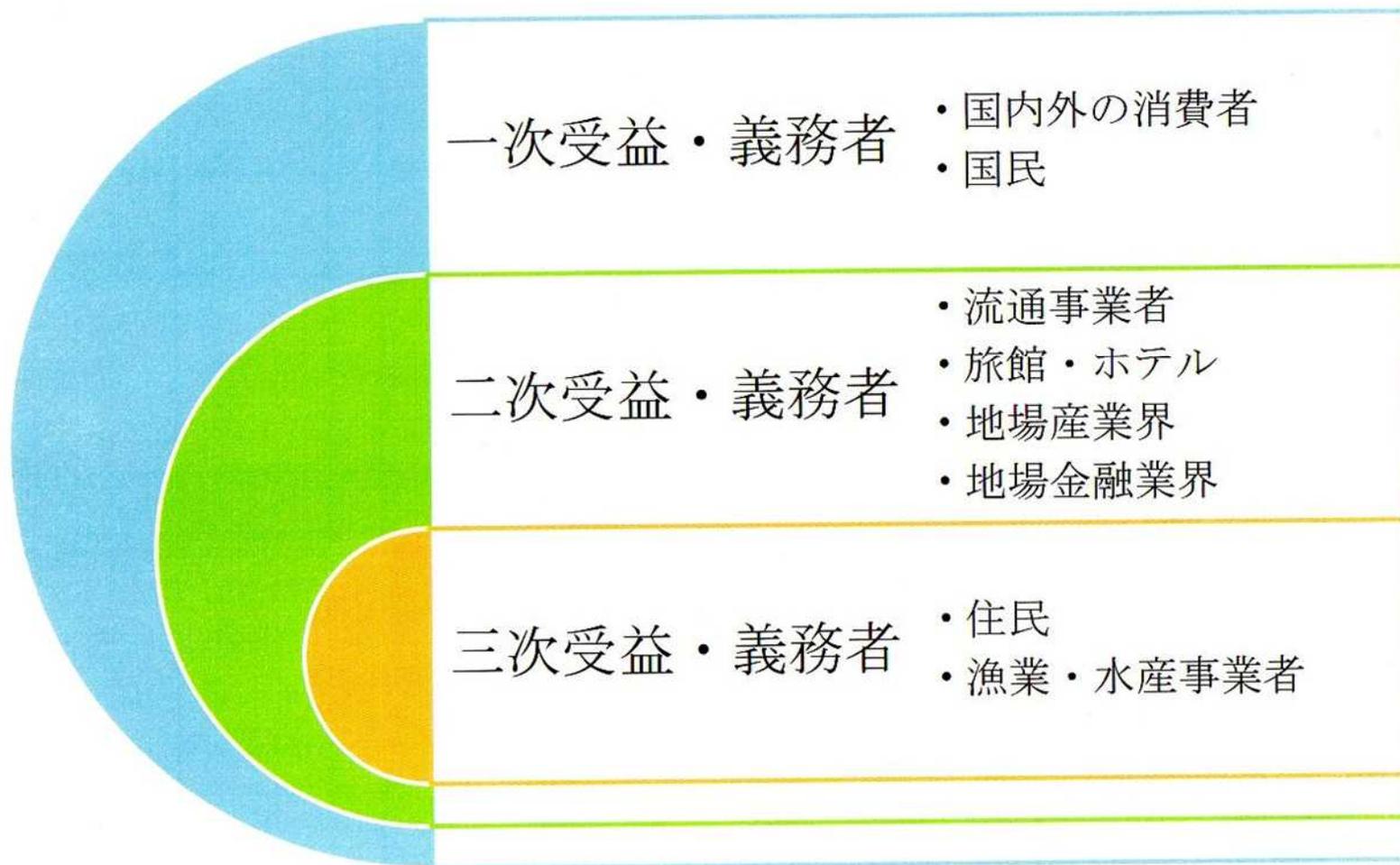
河口堰の耐用年数は?

税務会計ではコンクリート構造物の耐用年数は最長50年

減価償却費27億円/年 残存価格10%(省令)

「損切り」を1日も早く決断すべき物件

三河湾の自然保護・再生の権利義務の構図



やって欲しいこと

- ☆新規のダム・砂防ダムは造らせない。
- ☆老朽化したダムや堰は壊させる。
- ☆消波ブロックは撤去させる。
- ☆自然保護・再生をモーレツに後押しする。

Merci Beaucoup !